

笑顔とこころに響く

# 川本町移住パンフレット

SHIMANE KAWAMOTO, JAPAN  
2022~2023







## ようこそ かわもとまちへ

島根県のほぼ中央に位置する川本町は、悠久の時を刻む懐深い中国地方随一の大河「江の川」の水運により、古くから、「石見銀山（世界遺産）」と山陽側の玄関口として栄え、交流の町として発展してきました。

類い稀な農村景観が郷愁を誘う「三原地域」や、日本遺産にも認定されている心踊る勇壮な「石見神楽」など、訪れる人々の心の原風景を呼び起こす、歴史や文化、地域の資源が溢れる町での、未来へのチャレンジを「川本ワンチーム」で応援します。

この町で、ぜひ暮らしてみませんか。



川本町長 野坂 一 弥

### INDEX

町長あいさつ .....	02	川本町での住まい .....	10
川本町のこと .....	04	川本町での仕事 .....	12
川本町での子育て .....	06	川本町の施設紹介 .....	14
川本町の教育環境 .....	08	移住相談窓口 .....	15

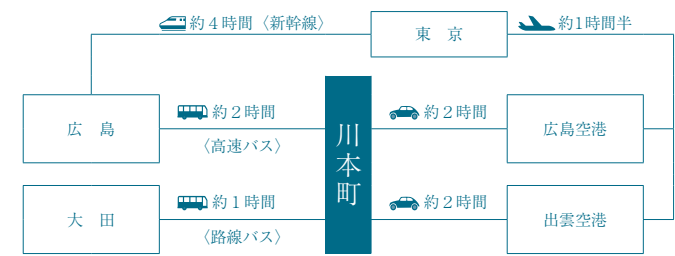






## アクセス

03



### ●お車でお越しの場合

広島市街から約1時間45分(浜田道「大朝IC」経由)  
出雲市街から約1時間30分/浜田市街から約1時間30分

### ●公共交通機関をご利用の場合

JR山陽本線「広島駅」より高速バス(石見銀山号)  
JR山陰本線「大田市駅」より路線バス(石見交通)



## 自然豊かで生活しやすい 川本町のこと

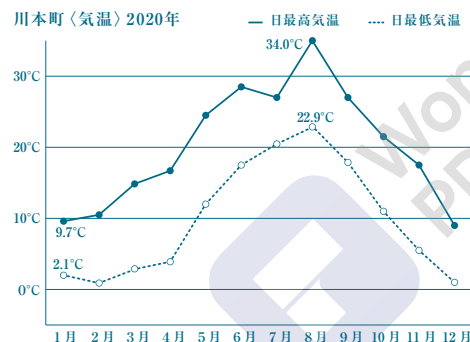
川本町は自然環境に都市の利便性が機能する「コンパクトタウン」といわれています。交流の町として発展してきた経緯から、外部の人間を受け入れる寛容さがあり、移住者にとって「移住しやすい町」です。

### 人口

人口	男	女	世帯数	65歳以上	高齢化率	15歳未満	
3,162人	1,497人	1,665人	1,646世帯	1,415人	44.7%	311人	※令和4年1月現在

### 気候

気候は山陰地方特有の高温多湿型で年間の平均気温は約14℃。年間降水量は約1,700~2,000mm。近年全国的に水害が問題になる中で川本町は治水対策に力を入れています。12月~3月は最低気温が氷点下になるため水道管の凍結に注意が必要です。積雪は年に数回10cm~20cmあるものの中での平均気温が高いことから、根雪となることはありません。



### 交通事情

町内の交通手段はバス、タクシーがありますが、1人1台必要といわれるほど車社会です。都市部とは異なり信号機が数えるほどしかなく、車での移動にストレスを感じないため片道1時間半の道程であれば十分生活圏内です。冬季は路面凍結、積雪のためスタッドレスタイヤの装備が必須です。また四輪駆動の車が推奨の居住地域もあります。





悠呂ふるさと会館



円山からの雲海



江の川河川敷



Wondershare PDFelement

### 生活

コンパクトタウンと称される川本町。いろいろなお店や公共施設、病院、金融機関があり、生活に便利な町です。マイカーでの移動は必須ですが、道の駅で地元野菜が購入できる他、飲食店、コンビニ、スーパー、ドラッグストア、ホームセンターなどの商業施設もそろっており、買い物、生活用品ともに不便を感じることはありません。町の中心部にある「弓市商店街」には意外なほど飲食店が多く、古き良き飲み屋街を楽しむことができます。



国道261号沿い

### インフラ

〈○：可 △：一部地域で不可〉

光回線	CATV	携帯4社	ガス	下水	救急医療機関
○	○	△	プロパン式	合併浄化槽 (一部集落排水)	車で約20分



## 人を育む町で、一人ひとりとじっくり向き合う 川本町での子育て



川に飛び込んだり、森の中で虫を探したり田植えを手伝いながら泥だらけになって思いっきり遊べるのが川本町ならではの子育て環境です。夏は川遊び、冬は一面の雪景色と季節を全身で感じられ、夜には満天の星を数えるのも情操教育に良い影響があります。田舎での子育て最大のメリットはこうした自然豊かな環境です。また、川本町は自然環境に加えて地域活動も充実しています。野球、バレーボール、柔道、水泳などのジュニアスポーツに加え、英会話、音楽教室、そろばん、伝統芸能などの趣味教養の習い事もそろっています。公的なサポートでは、保育料の完全無料化、高校卒業までの子どもの医療費無料など支援制度が充実しています。

子育てサポートセンターでは、在宅児家庭向けに交流スペース事業、小学生の放課後居場所づくり事業など様々な取り組みを行っています。

町の中心部には総合病院、郡内に24時間体制の救急医療機関である公立病院があり、乳幼児医療（小児科）に対応しています。







保育所 田植え



病児保育コスモス



子育てサポートセンター在宅児家庭支援



保育所 遠足



K-pop タケノコ掘り

## 乳幼児・未就学児サポート

### ■ 保育所

町内の主要地区3か所にあり、田植えや川遊びなどの自然を生かした様々な体験活動を取り入れた保育が行われています。

- ▶ 保育料全児童無料（所得制限なし）
- ▶ 完全給食の実施（無料）
- ▶ 土曜保育・障がい児保育に対応
- ▶ 一時保育（川本保育所のみ）

### ■ 病児保育室「コスモス」

小児科のある公立邑智病院（町の中心部から20分程度）に併設した病児保育施設です。専任の保育士と看護師が日中の保育を支援してくれます。（1日2,000円。有料の給食サービスあり）

### ■ 子育てサポートセンター

在宅児家庭のつどい場として平時の日中に無料開放しています。またベビーマッサージ、本の読み聞かせ等のイベントを定期的実施しており、移住したばかりの保護者でも気軽に交流できる場となっています。

### ■ K-POP（かわもとぼかぼか親子プロジェクト）

川本町教育委員会が実施している社会教育イベント。タケノコ掘り、鮭の観察会、リース作りなど地域や自然を通して親子のふれあいの時間を育む、移住者家族にも大好評のイベントです。

子育てで出産の支援一覧▶





少人数だからこそその魅力、小・中・高の連携教育

# 川本町の教育環境

## ■川本小学校

1学年20人前後の学級集団の中で、児童一人ひとりに対してきめ細かく教員が対応しています。「学び合い、聴き合う関係づくり」を目指して「学び合い学習」に取り組んでおり、仲間づくりを基盤とした個々の学力向上に力を入れています。

▶地域に学ぶ「ふるさと教育」の充実 ▶学習支援員による学習サポートの充実 ▶トップアスリートから学ぶ「夢先生授業」 ▶電子黒板・タブレット端末を生かしたICT教育 ▶地域の特産品を活かした学校給食による食育推進 ▶全教室・体育館にエアコン設置 ▶図書館司書の常駐 ▶専任ALTの配置 ▶指定制服

## ■川本中学校

1学年20人前後の小規模校です。夢や目標をもち、その実現に向けて努力する生徒の育成に力を注いでいます。

▶職場体験などのキャリア教育の視点を持った教育活動 ▶学習支援員を各学年に配置 ▶トップアスリートから学ぶ「夢先生授業」 ▶電子黒板・タブレット端末を生かしたICT教育 ▶地域の特産品を活かした学校給食による食育推進 ▶全教室・体育館にエアコン設置 ▶図書館司書の常駐 ▶専任ALTの配置 ▶指定制服

## ■島根中央高等学校

しまね留学により全国から生徒が集まっています。コース選択制・総合選択制で進学や就職と多様なニーズに応える環境が整っている高校です。1学年3クラスで、1クラスの定員は35人です。

▶県内唯一の普通科コース制・総合選択制 ▶まちごとキャンパス学習や探求学習などの地域学習の充実 ▶全国100校から集まる多様な生徒たち ▶県内唯一の女子硬式野球部。全国レベルのカヌー部や吹奏楽部など多様な部活動



小・中・高・大学生の多世代交流



川本小学校の授業風景





かわもとジュニアバレーボールクラブ

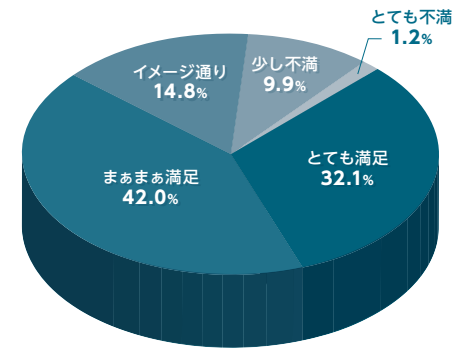


子ども神楽団「演目：土蜘蛛」



かわもと あそラボ

# 川本町の保育・教育環境に満足していますか？



※川本町移住者（2010～2021年の転入者）意識調査アンケート結果より抜粋

## 地域教育

### ■かわもとスポーツクラス (KSC)

小学生を対象としたバレーボール、野球、バスケットボール、フットサル、剣道などのスポーツ教室。各クラブとも放課後や週末に小学校の施設を貸切るなど、スペースや設備を贅沢に使えるのも田舎ならではの魅力です。

### ■子ども神楽

町内にいくつかある子どもの習い事のなかに、伝統芸能「石見神楽」があります。地元有志による指導のもと地域と関わることができます。

### ■かわもとあそラボ

コミュニティカフェ「Orange」を活動拠点とした多世代交流ができる地域活動グループです。大学生や地域住民のサポートのもと、島根中央高校や川本中学校の生徒たちが中心となりカフェ運営や野菜の栽培・販売など地域を巻き込んだ活動を行っています。定期的に小学生はもちろん未就学児も楽しめるイベントを開催しています。

最新の子育て環境▶





## 人生設計に合わせて選べる 川本町での住まい

移住最大の醍醐味は理想の住まいだと思います。川本町では空き家バンクの活用や最大350万円の住宅支援制度、新築戸建住宅「定住促進住宅」により、都市部よりも戸建住宅への入居のしやすさが特徴です。

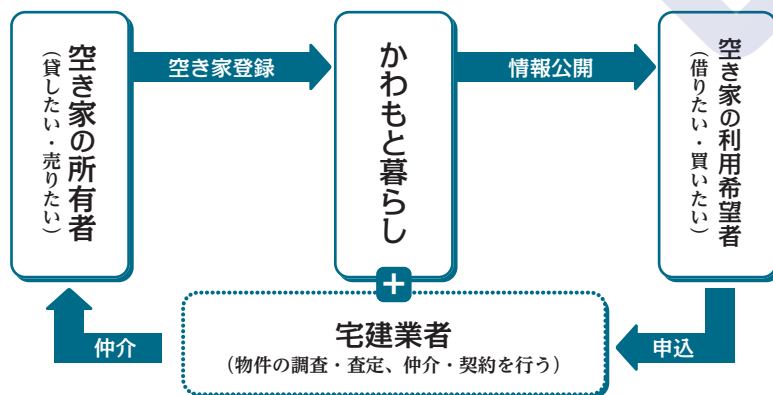
川本町での住まいを考えるうえで注意する点として、一部地域を除き合併浄化槽を使用しています。その維持・管理費が必要となります。またガスはプロパンガスを使用しておりますが、近年ではオール電化の住宅も増えています。

### ■川本町空き家バンク

空き家バンクとは、空き家の売却・賃貸を希望する所有者からの空き家登録を受けて、利用希望者に向けてホームページに物件情報を公開できる制度です。川本町ではトラブル軽減のため宅地建物取引事業者（仲介事業者）が所有者への仲介・交渉を行っております。

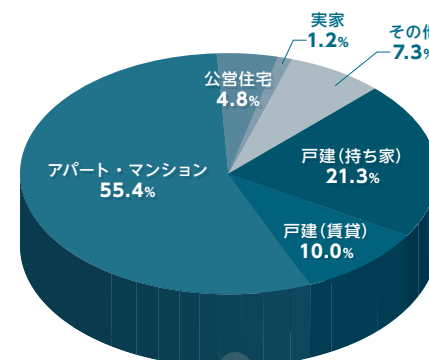
※物件の賃貸・売買については、宅地建物取引事業者を介した所有者と希望者の直接契約となります。

#### 空き家バンク制度の仕組み

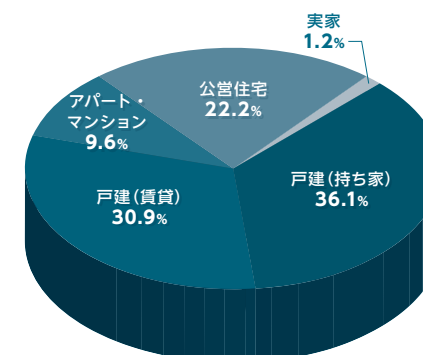




## 移住前の住居は？



## 移住後の住居は？



※川本町移住者(2010~2021年の転入者)意識調査アンケート結果より抜粋

## 各種住宅制度

### ■定住促進住宅

新築戸建て〈木造二階〉専用駐車場付オール電化住宅

家賃:25,000円~40,000円/月

〈子ども1人につき5,000円の減額(最長10年・3人まで)〉

※募集状況は年度により異なります。最新の募集状況をご確認ください。

### ■町営住宅

町が管理する住宅です。世帯用と単身用があり入居には所得など条件を満たす必要があります。ペット可の町営住宅もあります。

〈家賃:所得により変動〉

### ■民間アパート

単身者向けのアパートが多く、入居状況は随時変動しがちです。家賃の平均は40,000円前後となっています。

### ■新築・中古住宅購入助成金

新築または中古住宅を購入される場合に一部を助成する制度があります。

(新築住宅:最大200万円、中古住宅:最大350万円)

住まいに関する最新情報・支援一覧▶





## 就職や起業を、町をあげて支援 川本町での仕事



移住を検討するうえで「仕事」は大切な要素です。川本町へ移住した人のアンケート結果から土木・建設業、医療福祉、製造業などを中心とした就業が多いことがわかります。資格を必要とした職業も多いですが、町内企業は移住者採用に意欲的であり、前職のIT経験を活かし土木や製造業などの他職種で活躍する方もいます。職種にとらわれず、自身の経験が活かせる職場が見つかるはず。まずはご相談ください。

また、川本町では農業・林業といった第一次産業の就業支援に力をいれており移住者が農業・林業で活躍しています。加えて、地域おこし協力隊や起業支援制度を利用して起業するなど新しい働き方を実践している人もいます。



◀最新の求人情報、起業・就農に関する支援一覧







邑智郡森林組合 #Iターン

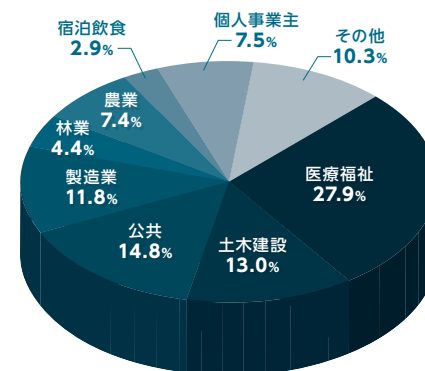


(有) Willさんいん #Jターン



(株) 三協 島根川本工場 #Iターン

## 移住後の職種は？（無職・専業主婦除く）



※川本町移住者（2010～2021年の転入者）意識調査アンケート結果より抜粋

## 各種就業・就農・起業お役立ちサイト

### ■地域おこし協力隊制度

川本町では、個々の要望に柔軟に対応するため、雇用型・起業型の2つの受入体制を設け、隊員の活動支援補助金を明確に制度化しています。採用日は原則4月と10月の年2回あります。



### ■就農支援

自営就農、半農半Xなど目指す就農スタイルに合わせた支援メニューがあります。島根県には65歳まで対象の就農支援制度があります。



### ■産業体験プログラム

島根にUターン・Iターンし、農業・林業・漁業・伝統工芸・介護分野の産業を体験する場合、支給要件を満たした方を対象に、1年間月額12万円の体験者助成金を支給し、さらに中学生以下の子連れ体験なら1世帯あたり3万円の親子連れ助成金を加算します。



### ■起業支援サイト「つながる川本」

川本町の創業・経営支援サイトです。起業支援に関する補助金や起業する際の空き店舗の情報を掲載しています。起業を一步前へ踏み出すきっかけに、ぜひご利用ください。







大ホール (悠邑ふるさと会館内)



加藤病院



道の駅インフォメーションセンターかわもと 産直市



川本町民球場



湯谷温泉 弥山荘



ふれあい公園 笹遊里



トレーニングルーム (おとぎ館内)



かわもと図書館 (悠邑ふるさと会館内)



室内温水プール (おとぎ館内)





石州瓦



イズモコバイモ



エゴマ



長江寺

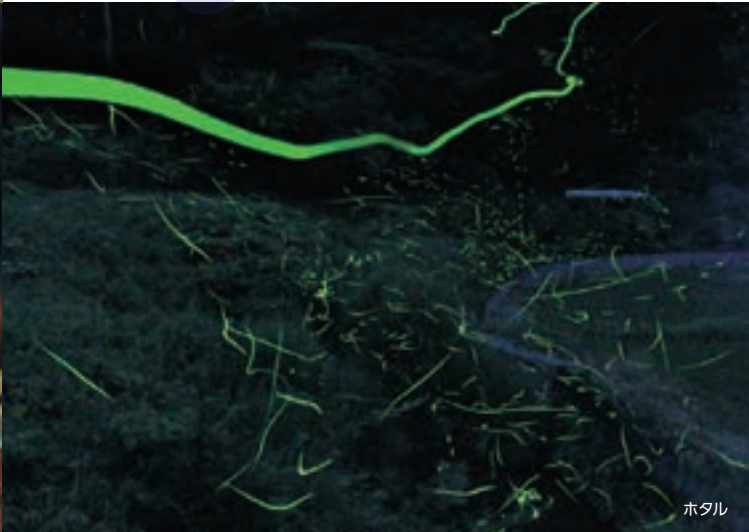
だから  
こそ、  
川本。  
2022



田植え囃子



江川太鼓



ホテル



花火



# 2022年度版 支援制度一覧

## 出産・子育て支援

それぞれの助成・支援制度については要件等がありますので  
詳しくは、下記連絡先までお問い合わせください。

川本町役場 総務財政課（代表） ☎0855-72-0631

### ●保育料の完全無料

保育料完全無料。（所得制限等なし）

### ●保育所完全給食〈全額無料〉

町内全保育所で地元産の炊きたてごはんを提供する完全給食を実施。  
副食費（おかず代）の実費負担分を全額助成。

### ●子ども等医療費助成制度

①生まれてから高校卒業までの病院や薬局での医療費が無料。  
②20歳未満の特定16疾患群に係る入院費が無料。

### ●不妊治療〈特定・一般〉・不育症治療費助成

一般不妊治療・不育症治療費の一部を助成。（上限：30万円）  
特定不妊治療費の一部を助成。

### ●男性不妊検査費助成

保険適用外の検査費用の一部を助成。（上限：2.8万円）  
※島根県へ申請し交付を受け2.8万円を上限に残額を町が助成。

### ●妊婦健診費助成

妊婦一般健康診査14回の受診票を交付。（県内：無料 県外：上限あり）

### ●妊婦歯科健診費助成

妊婦歯科健診受診票を交付。（妊娠期間中1回無料）

### ●風疹ワクチン・麻疹風疹ワクチン予防接種費助成

妊婦と同居の方、妊娠を希望される女性及び同居の方の予防接種の助成。（一部負担あり）

### ●産婦健診費助成

産後2週間と1ヶ月の2回の健診費を助成。（上限：5千円／1回）

### ●産後ケア事業

助産師による授乳指導や心理的ケア。（産後4ヶ月未満、一部負担あり）

### ●乳児一般健診費助成

生後1ヶ月・9～11ヶ月に受けていただく受診票を交付。（県内：無料 県外：上限あり）  
※乳幼児健診として集団健診を開催（4～5ヶ月、1歳6ヶ月、2歳、3歳、4歳児）

### ●新生児聴覚検査費助成

新生児聴覚スクリーニング検査の費用が無料。



### ●川本町まげなフリーパス

町内在住の高校生以下を対象に町内の公共施設やスクールバス、温泉施設などの利用料が無料（一部割引）となるフリーパスポートを発行。

### ●つながる絵本お届け事業

町内在住の1歳～小学3年生までの児童に絵本を贈呈。（1冊／年1回）

### ●歯科対策助成

フッ素塗布費用が無料。（対象：3歳児～4歳児）  
フッ素洗口費用が無料。（対象：5歳児～中学生）

### ●定期予防接種費助成

定期予防接種費（BCG/四種混合ほか）が無料。

### ●インフルエンザ予防接種費助成

妊婦・高校生以下のインフルエンザ予防接種費用が無料。

### ●チャイルドシート購入費助成

1台につき購入価格の1/2を助成。（上限：1.5万円）

### ●自転車ヘルメット購入助成

1個につき購入価格の1/2を助成。（上限：2千円）

### ●英検助成〈自らの学び応援事業〉

英語検定を受検する費用の全額を補助。（同一級同年度内1回）

### ●遠距離通学費支給制度

小学生〈通学距離：2km以上〉、中学生〈通学距離：6km以上〉の定期券等を支給。  
※バス通学で最寄りの停留所までの距離が2km以上の場合も対象になります。

### ●就学援助制度

経済的な理由で児童生徒の就学が困難な世帯に対して、学校関係経費を援助。

### ●就学奨励費制度

障がいのある児童生徒の学校関係経費を家庭の経済状況等に応じて援助。

### ●夢と可能性に挑戦する人財定住助成金事業

①高校・大学等卒業後就職し、川本町に居住した場合に定住助成金として最大50万円を交付。  
②奨学金を借入れ大学等に進学し、卒業後10年以内に就職、川本町に居住した場合に奨学金返還額範囲内で毎年助成金を交付。（上限：24万円／年 期間：最長10年）※くらしまねっとに登録する企業が求める国家資格を有し、就職した場合は上乗せ〈6万円／年〉。





## 住まいの支援

### ●新築・中古住宅購入助成

新築住宅の建築費、中古住宅の購入費・改修費の一部を助成。

#### ①新築住宅〈最大200万円〉

- 建築費の1/10〈上限：50万円〉
- + 土地購入額の1/2〈上限：50万円〉
- + 解体撤去費の1/2〈上限：50万円〉
- + 加算額①～③各25万円〈上限：50万円〉

#### ②中古住宅〈最大350万円〉

- 購入費の1/20〈上限：50万円〉
  - + 改修費の1/2〈上限：250万円〉
  - + 加算額①・②各25万円〈上限：50万円〉
- 〈加算額条件〉①中学生以下の子ども1人につき  
②世帯主が45歳未満の世帯  
③町内業者が施工



### ●Uターン住宅改修助成

町外に居住する35歳以下の親族がUターンし、町内で同居する際に必要となる家屋の増改築工事費の一部を補助。

増改築工事費の1/2〈上限：100万円〉

### ●合併浄化槽設置費補助制度

- ①単独浄化槽撤去費分 単独浄化槽撤去費用の一部を助成。〈上限：9万円〉
- ②合併浄化槽設置費分 合併浄化槽設置に伴う費用の一部を助成。〈1基〉  
5人槽：58万円 7人槽：78.5万円 10人槽：112万円  
※単独浄化槽撤去費分・合併浄化槽設置費分の併用可、10人槽は2世帯住宅が対象です

### ●生ゴミ堆肥化装置設置事業補助金

生ゴミ堆肥化装置設置に伴う費用の一部を助成。

電源あり：購入費の1/3〈上限：2万円〉 電源なし：購入費の1/2〈上限：3千円〉

### ●太陽光発電システム設置費補助金

太陽光発電システム設置に伴う費用の一部を助成。〈上限：28万円〉

### ●飲料水供給施設設置奨励金

簡易水道が供給できない地域にお住まいの方が飲料用井戸の設置をする場合の費用の一部を助成。

- 1戸の場合：対象経費の2/3〈上限：100万円〉
- 2戸以上の場合：対象経費の2/3〈上限：200万円〉



## 起業・就農支援

### ●起業・事業継承支援制度〈小売店等開業支援事業〉

空き店舗等を活用した起業、開店にかかる経費の一部を支援。

費用の1/2〈上限：200万円〉

※地域住民の買い物不便等の助けとなる事業の場合は、別途経費の支援があります

### ●就業支援制度

目指す就業のスタイル〈自営・兼業・雇用〉にあわせた支援制度。

#### ①産業体験〈農業・林業・漁業・伝統工芸・介護分野等〉

12万円/月〈期間：3～12ヶ月〉

※親子連れ助成 + 3万円/月〈世帯毎 対象：中学生以下の子どものいる世帯〉

#### ②半農半X支援事業〈就農前研修経費・定住定着助成〉

12万円/月〈期間：1年〉※夫婦共同経営の場合、それぞれが対象です

#### ③新規就農者育成総合対策〈経営開始型〉

150万円/年〈期間：3年〉



### ●しまね子育て応援パスポート『COCCOLO』

🌐 <https://www.pref.shimane.lg.jp/education/syoushika/syoushika/parntenv/coccolo/>

協賛店において、商品の割引、ポイントカードのポイントアップ、景品のプレゼント、子育て関連情報の提供などのサービスを受けることができます。



## ふるさと島根定住財団の移住支援

### ●Uターン応援カード

🌐 <https://www.kurashimanet.jp/support/card/>

島根県外に在住している、または移住後1年以内の方が発行対象の移住・定住応援カードです。移住前後住まい探し、仕事探しから、移住後の生活環境に慣れるまで島根県内の様々な場所でサービスを受けられます。



### ●引っ越し割引サービス

🌐 <https://www.kurashimanet.jp/support/moving/>

「しまね登録」へ基本情報の必須項目の入力をされた方は県外から島根県内への引越しの際、引越し費用の割引サービスを受けることができます。





地域を変えていく新しい活動にアナタも挑戦しませんか？

# 川本町地域おこし協力隊

「地域おこし協力隊」とは人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、最長3年間（年度更新）地域活動・起業準備を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした総務省の制度です。川本町でも延べ31名を受け入れ、それぞれの分野で活動を行っています。



## ■川本町独自の雇用型・起業型、2つの受け入れ体制

川本町では2つの受け入れ体制を設けています。雇用型は、役場または所属先のスタッフとして地域課題解決に向けた活動を行う制度です。起業型は個人事業主として起業・就業に向けた準備・実践活動を行う制度です。特に起業型は開業支援的な要素が強く、この制度を利用した多くの隊員が地方には珍しい事業を展開しています。また起業を考えているが具体的な内容が未定の場合、雇用型で活動しながら起業に向けた準備をし、2・3年目の委嘱継続契約時に起業型へ変更することもできます。※変更のためにはプレゼンテーション等、所定の手続きが必要です。

### 雇用型（雇用関係あり）基本報酬

136,880～165,760円/月 ※基本報酬は雇用先の条件による

賞与あり（年2回）/健康保険・雇用保険・労災保険加入・厚生年金

### 起業型（雇用関係なし）基本報酬

200,000円/月

賞与なし/国民健康保険・国民年金加入

## ■活動支援補助金 1,000,000円/年

「川本町地域おこし協力隊活動支援補助金」とは、地域おこし協力隊の活動に要する経費に対し、交付される補助金制度です。基本報酬とは別に年間で100万円の補助を受けることができます。主な用途として家賃、活動に必要な機材・研修費などに当てることができます。





# 移住・定住・交流にまつわるあらゆる相談にワンストップで対応する 移住総合相談窓口 かわもと暮らし

川本町では、移住・定住についての総合相談窓口「かわもと暮らし」を開設しており、専任のスタッフが、仕事、住まい、子育てなど移住・定住にまつわるあらゆる相談にワンストップで対応しています。メール、電話、オンラインでの個別相談はもちろん、移住体験ツアーや空き家バンクの情報提供も行っています。

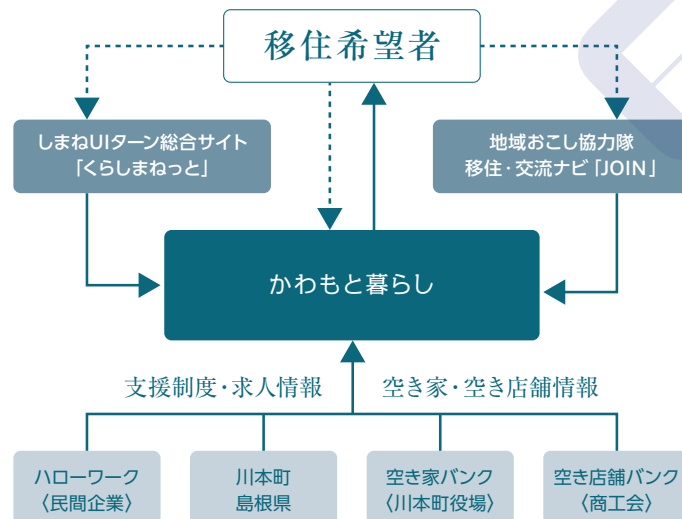


川本町移住サイト  
「かわもと暮らし」



【宿泊費無料・オーダーメイド型】  
移住体験プログラム

かわもと暮らし（移住定住促進グループ） ☎0855-74-2110  
 ✉ info@kawamotogurashi.jp  
 〒696-0001 島根県邑智郡川本町大字川本608-1  
 総合相談窓口 月-金 9:00~17:00（土・日・祝日定休）  
 🌐 <https://www.kawamotogurashi.jp>



## 私たちが全力でサポートします。



移住プランナー 浪崎 健一

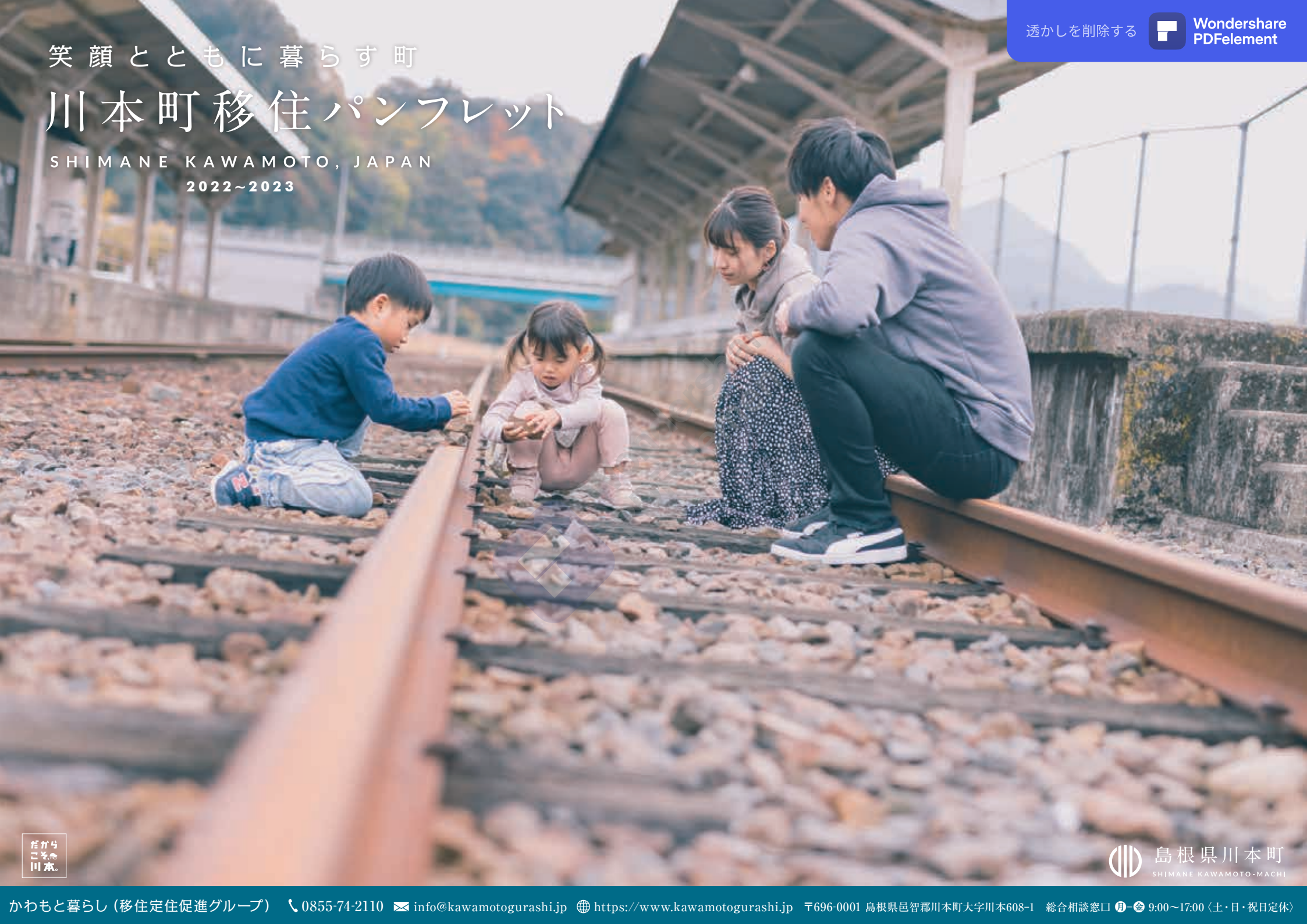


2015年に静岡県から家族で移住しました。移住先での生活に求めるものは人それぞれだと思います。相談に来られる方の思いを大切に、住居や就業先、保育所や学校の紹介など移住後の生活も含めサポートいたします。個々の事情にも柔軟に対応いたしますので、まずはお気軽にご相談ください。



# 笑顔とともに暮らす町 川本町移住パンフレット

SHIMANE KAWAMOTO, JAPAN  
2022~2023



若から  
こまめ  
川本。

 島根県川本町  
SHIMANE KAWAMOTO-MACHI